

世界遺産学習だより

大田市教育委員会石見銀山課

(世界遺産学習担当)

Tel 0854-82-1600(内線 338)

E-mail isan-gakushu@iwamigin.jp

私のいち押し、見つけたよ～大森小、町歩きマップ作成

大森小学校は、今年度筑波大学と大田市の支援を受けて世界遺産学習のワークショップを実施しています。年間4回の予定です。最終的には、子どもたちの目線で、町並みのガイドツアーをすること最終目標としています。

2回目は6月15日(金)に実施。今回の目標は、子どもたちのお気に入りの場所(もの)を見つけて、写真にとり、町歩きマップを作ることでした。慣れ親しんだ町で、子どもなりの新たな魅力を発見してもらおうことが狙いです。

3年生から6年生までの12名が3班に分かれ、筑波大学の学生と一緒に重伝建に選定された大森の町を探索。子どもたちは、五感を研ぎ澄まして歩き回り、「面白い」

と感じたものを写真にとりました。200枚を超えたグループもありました。

学校に帰った後、量1枚分ほどの町並みの地図に、印刷された写真をびっしりと貼りつけました。その中から、一人ひとりが自分のいち押しを選び、発表。「文字に見えるハンドの割れ目」など、その発想はユニークでした。

今回も、学生さんにサポートされて、楽しく意欲的に取り組むことができました。



見つけた面白スポットを撮影

撮影した写真を地図に貼りつける



自分のいち押しを発表

自作のワークシートで銀山学習～出雲養護学校大田分教室

6月27日(水)、大田分教室の1,2年生3人が世界遺産センターと熊谷家で銀山学習をしました。

世界遺産センターでは、展示を見ながら、先生方が作られたワークシートを使い、石見銀山についての理解を深めました。その後、選鉱体験(粉なし作業、ゆり盆体験)をし、丁銀型のプラスチック板によるキーホルダーを作りました。

午後は大森の町並みを散策し、熊谷家で「暗やみ体験」。展示見学やささまざまな体験を通じて石見銀山の一端を知ることができたようです。



熱心に展示を見る生徒たち(世界遺産センター)

ふるさと学習誌～石見銀山に関する図書紹介③

〈仲野義文監修 大田市ほか刊行 平成10年～平成19年〉

平成10年から逐次刊行された小冊子。全部で7冊ある。子ども向けにつくられたものだが、内容は濃く、多岐にわたる。写真や図表が豊富で、わかりやすく親しみやすい。ワークシートもある。最後に出版されたのが、No.7で、いわば集大成されたもの。

すでに市内の全小中学校に青いファイルに綴じて一括配布されている。世界遺産センターのウェブサイトからすべての号を印刷できる。

No.	タイトル
1	石見銀山～銀ができるまで（灰吹き法）
2	石見銀山～鉱山の技術と科学
3	石見銀山～いも代官井戸平左衛門の事蹟
4	石見銀山～野外手帳（ワークシート）
5	石見銀山～戦国時代の遺跡を歩いてみよう
6	石見銀山～歴史手帳
7	石見銀山学習資料～私たちの石見銀山

銀山学習に役に立つウェブサイト



検索エンジンで「石見銀山」を検索すると28万ものウェブサイトがヒットします。しかし、正確であること、全体に触れていること、大方の研究者の同意を得ていること、などを基準に選ぶと、次の4サイトに絞られます。

石見銀山世界遺産センター (<http://ginzan.city.ohda.lg.jp/>)

大森・銀山地区のマップ、「図書紹介」で紹介した『ふるさと学習誌』、『石見銀山ニュース』などのPDFがあり、印刷して活用できます。石見銀山に関する動画や写真なども授業に使う場合は自由に使用可能。

島根県教育委員会文化財課世界遺産室 (<http://www.pref.shimane.lg.jp/sekaisan/>)

石見銀山遺跡のほか、世界遺産の登録基準・手続き、日本や世界の世界遺産などが詳しく述べられています。出版物コーナーも充実しており、県や市が発行した各種パンフレット・報告書などがPDFで掲載されています。

石見銀山資料館 (<http://fish.miracle.ne.jp/silver>)

石見銀山の歴史がコンパクトにわかりやすくまとめられています。「絵で見る鉱山」には、「石見銀山絵巻」の一部（選鉱・坑内作業・灰吹き・極印打ち、銀輸送など）が載せられ、当時の銀生産の一端を実感できる。

しまねバーチャルミュージアム石見銀山 (<http://www.v-museum.pref.shimane.jp/special/vol106/>)

遺跡マップにはじまり、歴史、鉱山技術、銀山絵巻、丁銀などについて、たくさんの写真や図とともに解説。とくに銀山絵巻はスクロールしたりボタンが隠れていたり使っていて楽しい。学習にはいち押しのサイト。

石見銀山課からのお知らせ

■『石見銀山学習施設等利用案内』の第2版を作成配布

4月当初に配布した冊子の改訂版を作りました。主な変更点は、利用施設に「鞆館」（仁摩町馬路）を加えたこと、世界遺産センター、大久保間歩などの利用・減免申請を簡略版に変えたことなどです。

教育委員会の共用ホルダーにも改訂版をアップしています。どうぞご利用下さい。

□□□□□□□□□□□□□□□□ 市内各学校の銀山現地学習 □□□□□□□□□□□□□□□□

- 7/04 仁摩中学校 1年生 25名。仙ノ山本谷の大久保間歩に入坑し、さらに上の岩盤遺構まで見学。
同 温泉津中学校 全校生徒 55名。銀山の重要な港であった沖泊から櫛島の海岸を清掃。
- 7/06 大森小学校 3～6年生 12名。3班に分かれ、ガイドポイントの選定と案内文の作成。
同 三瓶周辺3校（池田小、志学小、北三瓶小） 5, 6年生 35名。温泉津の町並み、沖泊探索
- 7/12 仁摩小学校 6年生 32名。鉱山地区探索と龍源寺間歩入坑。午後世界遺産センターで灰吹き実験見学。